

若者のU I ターン促進のために
～ 東北公益文科大学女子学生の意識調査をもとに
「住みたい地域」を分析する ～

東北公益文科大学 齊藤春菜

□推 薦

指導教員 吳尚浩

本論文を執筆した齊藤春菜さんは、1年次より、基礎演習などを通じて、吳尚浩研究室のフィールドワークに慣れ親しみ、その後も自主的に活発に地域づくり活動に参加してきた学生である。

飛島へのフィールドワークをきっかけに、U I ターン促進について、強い関心を抱くようになり、3年次より幅広く移住・定住について学びを深めてきたが、卒業論文をまとめるにあたっては、身近な東北公益文科大学の女子学生の意識をインタビュー調査することになった。

結論としては、若者の移住を促進するためには、地方での暮らしに前向き、または選択肢の一つとして考えられる人の特徴を捉え、ターゲットに合った活動が重要であること、移住者の心境を理解しながら、彼らを迎え入れる環境が整っていることを人と人との交流をもって発信していく必要があることをきめ細かく提言している。

地域貢献を大きな使命とする東北公益文科大学としても、また酒田市としても、卒業生の酒田への就職は大きな関心事のひとつであり、このような学生自身の手による、学生を対象としたインタビュー調査から導き出された提言は、大変興味深い。

齊藤さん自身が、4月から酒田市役所に勤務することになり、この研究を活かして、ぜひとも大学まちづくりに貢献していただくことを願っている。